

国民健康保険

国民健康保険広域化に係る諸問題について

答弁：今後も社会保険加入者と国保加入者の負担のバランス、今後の医療費の推移等を考慮しながら、一般会計でどれだけ負担していくか検討していく必要があると考えております。

小坂 徳蔵 議員

小坂 国民健康保険制度は2018年4月から埼玉県が運営する国民健康保険広域化に大きく制度が変わります。これにより国保制度及び加入者の負担がどうなるのか。現在の国保加入世帯の平均所得、世帯平均の調定額などを見ると、国保の広域化は、加入者にさらに過酷な国保税を課す仕組みとなっております。厚生労働省が今年1月に発表したガイドラインによると、一般会計からの繰入れの解消、削減を指示しておりますが、一般会計からの繰入れは、広域化後も継続することは必要です。国保税の増税につながるたいへん重大な課題です。市長の考えをお伺いします。

市長 国民健康保険広域化は、国保事業を市町村で円滑に行うには問題が多すぎるという背景があります。どこの市町村も、国保会計は、国保税だけでは足りず、一般会計からの繰入金で、収支を整えている状況です。広域化後も国保税と一般会計からの繰入金とを合わせて県に納付することになるものと想定しております。

したがって、県から示された標準的な計算方法に、社会保険加入者と国保加入者の負担のバランス、今後の医療費の推移等を十分考慮しながら、一般会計でどれだけ負担していくかを検討しております。

議案に対する討論

議会最終日において、採決の前に、議案に対する討論が行われました。討論の一部を掲載いたします。

平成28年度一般会計補正予算（第1号）

賛成討論

本補正予算の特徴を申し上げますと、加須市民の安心の根幹をなす医療体制の確保を目指す経費や、北川辺地域の地籍調査事業の誤りの修正のための経費など、いずれも緊急かつ適正なものとなっております。また、今定例会において、病院誘致の問題について議案質疑及び一般質問でも多くの同僚議員が取り上げましたが、すべての答弁において今回の病院誘致

に対する市長の熱い思いが伝わってくるものでした。議会としても会派を越えて、済生会栗橋病院の一部機能の加須市への移転実現に向けた決議について全会一致で可決しました。今後、幾多の課題の解決やハードルがありますが、市長のリーダーシップのもと、市執行部と議会さらに市民が気持ちを一つにして、実現に向けて進んでいこうとするものです。

その他、情報管理事業としてのセキュリティ対策の強化のための経費や浄化槽設置整備事業補助の対象基数の追加などいずれも適正なものとなっております。



議会の詳細は「会議録」で

一般質問や議案の質疑などの詳細な内容をお知りになりたい方は、市役所（議会事務局）や市立図書館で「会議録」の閲覧ができます。



また、市のホームページからも「会議録」の検索・閲覧ができます。ぜひご利用ください。



ここから検索・閲覧できます